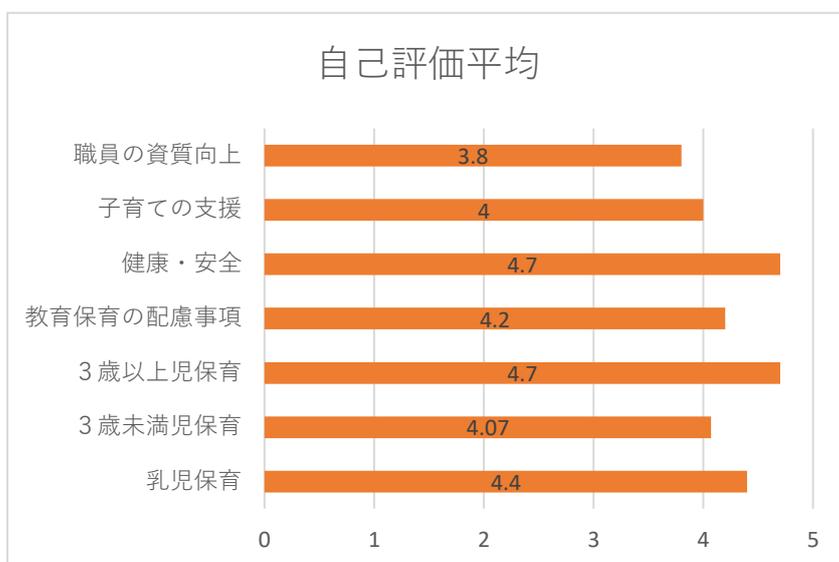


令和6年度 幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価

法人名	園名
社会福祉法人ゆりかご福祉会	第二ゆりかごWEC学院
まとめ	全体平均
第2章第2節 乳幼児期の園児の保育	乳児クラスは一人ひとりの発達の様子も違うので、活動や生活の流れなどもその子に適したものをしっかり考えて過ごしていけるようにしなければいけないと改めて感じた。
第2章第3節 満1歳以上満3歳未満の園児の保育	1～2歳児の保育の中では自然の中から得られる五感、生活の中で得られる五感などを大事にしながら、伸び伸びした保育を心がけていきたい。
第2章第4節 満3歳以上の園児の教育及び保育	園生活で学べる5領域を保育の中でも取り入れながら集団で学べる事、個人で学べる事を経験の中から学ばせていきたい。
第2章第5節 教育及び保育の実践に関わる配慮事項	コロナ過もあり、国際的な面だけでなく、地域の方々などの交流も少しずつ深めていけるといい。
第3章 健康及び安全	園舎が海から近い為避難訓練や防災に対する意識は常に保育者も子どもも持たせているつもりだが、職員の連携は常にこまめにおこなうように心がけていきたい。
第4章 子育ての支援	園長・主幹などとの連携をこまめにとっていきたい。
第5章 職員の資質向上	研修の内容や必要性を見極めながら職員にあったスキルなどの研修を選んで取り組みたい。

内容	自己評価平均
乳児保育	4.4
3歳未満児保育	4.07
3歳以上児保育	4.7
教育保育の配慮事項	4.2
健康・安全	4.7
子育ての支援	4
職員の資質向上	3.8
計	4.3



(園長評価)

令和5年度より自己評価の平均値が0.2高くなっている。全体として様々な研修や活動を通して、子どもが主体的に活動できる環境や保育内容などに重点をおいて計画し、保育を展開することの意識が高まっている。資質向上や要保護世帯への支援など職員組織全体で共有や取り組みを行う新たな課題も焦点となる。